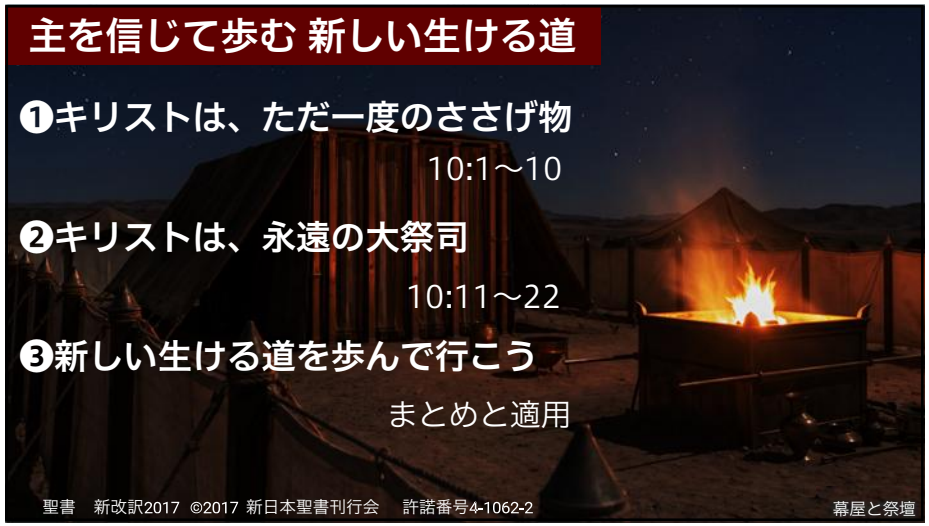


3

あなたの信仰は、成長していますか？

どうしたら、確認できますか？

4



5

ヘブル人への手紙とは？

■著者　…記載なし。諸説あり
…第二世代の信仰者　**パウロ？**

■宛先　…ディアスポラ(離散のユダヤ人)
ペテロの手紙と同じ教会(小アジア？)

■場所・時期　…エルサレム陥落(BC70)前
ローマ？　**エペソ?!**

■内容　…ユダヤ教に回帰しようとする人々へ
信仰の基本の確認、促し。



6

9章後半のまとめ　新しい契約の施行と完遂

❶キリストは、一度きりの贖いを成し遂げられた。

➡キリストの血による新しい契約が結ばれた。

❷昇天し、大祭司となったキリストは、

栄光の王として再臨し、神の国を建設される。

キリストが新しい契約を施行、世の終わりに完遂される

7



❶キリストは、ただ一度のささげ物　ヘブル10章1～10節

幕屋・再現図

8

❶真実の犠牲　律法は影　10:1

律法には来たるべき良きもの*の影はあっても、その実物*はありません。ですから律法は、年ごとに絶えず献げられる同じいけにえによって神に近づく人々を、完全にすることができません。

＊メシア。イエス・キリスト。

■律法の定める動物の犠牲のきよめは、不完全、一時的なもの。

人々を完全にするのはキリスト



至聖所で祈る大祭司

9

❶真実の犠牲　不完全な律法　10:2

それができたのなら、礼拝する人たちは一度できよめられて、もはや罪を意識することがなくなるので、いけにえを献げることは終わったはずです。

■いけにえを献げ続けてきたこと自体、律法の不完全さを証明している。



10

❶真実の犠牲 **毎年の贖罪** 10:3～4

ところがむしろ、これらのいけにえによって罪が年ごとに思い出される*のです。
雄牛と雄やぎの血は罪を除くことができないからです。

＊律法が実際にもたらす贖罪は限定的。
➡年に一度の贖罪日が、その中心
大祭司が、至聖所に入り、
犠牲の血を贖いの座にふりかけた。
■律法は、人に罪の現実を突きつける。



11

❶真実の犠牲 **メシアの告白①** 10:5～6

ですからキリストは、この世界に来てこう言われました*。「あなたは、いけにえやささげ物をお求めにならないで、わたしに、からだ*を備えてくださいました。
全焼のささげ物や罪のきよめのささげ物をあなたは、お喜びにはなりませんでした。

＊メシアの地上での中心的な宣言の要約
＊メシアは、完全に人として誕生。
➡ご自身をささげ物とするために!!



12

❶真実の犠牲 **メシアの告白①** 10:7

そのとき、わたしは申しました。『今、わたしはここに来ております。巻物の書*にわたしのことが書いてあります。神よ、あなたのみこころを行うために。』」

＊詩篇40:7、メシア預言
＊モーセの律法。
■メシアは、ご自身こそ、律法が示す、
真実の贖いのささげ物だと理解。



13

❶真実の犠牲 **不完全な犠牲** 10:8

以上のとおり、キリストは「あなたは、いけにえやささげ物、全焼のささげ物や罪のきよめのささげ物、すなわち、律法にしたがって献げられる、いろいろな物を望まず、またそれらをお喜びになりませんでした*」と言い、

＊詩篇50:8,51:16, Ⅰサムエル1:22…etc
…不完全なささげ物に何度も言及



14

❶真実の犠牲　**契約の転換**　10:9

それから、「今、わたしはあなたのみこころを行うために来ました*」と言われました。第二のもの*を立てるために、初めのものを廃止されるのです。

＊詩篇40:7～8
＊新しい契約
＊律法

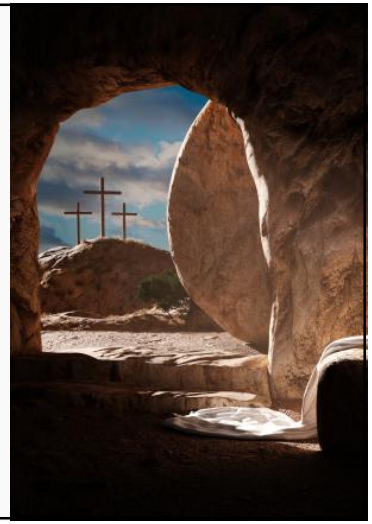


15

❶真実の犠牲　**一度の献げ物**　10:10

このみこころにしたがって、イエス・キリストのからだが、ただ一度だけ献げられた*ことにより、私たちは聖なるものとされています。

■キリストの十字架の死と復活の福音*を信じて、私たちは救われた。



16

❶キリストは、ただ一度のささげ物

①律法は、来たるべき**メシアの影**。
　動物のささげ物による贖罪は、**一時的**。

②イエス・キリストの、**ただ一度**の犠牲により、
　完全な贖罪が、永遠に成し遂げられた。

律法は役目を終え、新しい契約の時代に!!

17



18

❷永遠の大祭司　人の祭司の務め 10:11

さらに、祭司がみな、毎日立って礼拝の務めをなし、同じいけにえを繰り返し献げても*、それらは決して罪を除き去ることができませんが、

＊祭司の日々の務めの中心は、人々が持ってくるおびただしい犠牲を祭壇に献げること。



19

❷永遠の大祭司　天で待つ主 10:12～13

キリストは、罪のために一つのいけにえを献げた後、永遠に神の右の座*に着き、あとは、敵がご自分の足台とされるのを待っておられます*。

＊神の権威の座…神の全権威を継承

＊詩篇110:1　メシア預言

■メシアは、王の王として来られる
再臨の時を、天で待っておられる。
再臨のメシアがすべての悪を裁かれる。



20

❷永遠の大祭司　永遠の贖い 10:14

なぜなら、キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物*によって永遠に完成されたからです。

■ただ一度のメシアの犠牲の死と復活*を信じた者は、永遠に神の所有とされる。

キリストの一度の贖いを信じて人は永遠の救いを得る



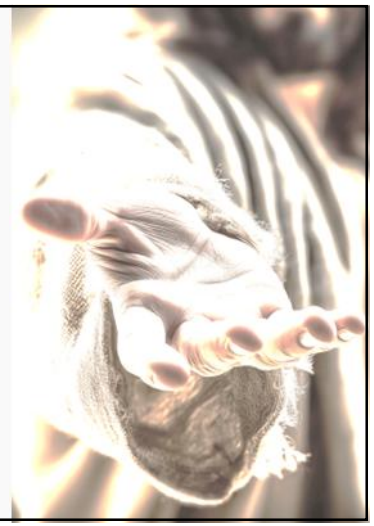
21

❷永遠の大祭司　新しい契約 10:15

聖霊もまた、私たちに証ししておられます。というのも、「これらの日の後に、わたしが彼らと結ぶ契約はこうである。――主のことば――わたしは、わたしの律法を彼らの心に置き、彼らの思いにこれを書き記す*」と言った後で、「わたしは、もはや彼らの罪と不法を思い起こさない*」と言われるからです。

＊エレミヤ31:33　新しい契約

＊エレミヤ31:34　永遠の救いの約束



22

❷永遠の大祭司 **新しい生ける道** 10:18～19

罪と不法が赦されるところでは、もう罪のきよめのささげ物はいりません。

こういうわけで、兄弟たち。私たちはイエスの血によって大胆に聖所に入ることができます。

イエスはご自分の肉体という垂れ幕*を通して、私たちのために、この**新しい生ける道**を開いてくださいました。

＊至聖所を隔てていた垂れ幕は破れた。

■キリストを通して**神の国に至る道**が!!



23

❷永遠の大祭司 **天の大祭司** 10:21～22

また私たちには、神の家を治める、この偉大な祭司がおられるのですから、

心に血が振りかけられて、邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われ、全き信仰をもって真心から神に近づこうではありませんか。

■天の大祭司イエスが、御霊によって
私たちをきよめ、成長させられる。

私たちに促されている聖化の道!!



24

❷キリストは、永遠の大祭司

①贖いを完遂した主イエスは、神の右の座で
永遠の大祭司として、とりなされている。

②主イエスは、再臨され、**王の王**となられる。
福音を信じた者は、神の国に招き入れられる。

永遠に至る新しい生ける道が開かれている

25



26

まとめ　キリストの過去・現在・未来

■**過去**：イエス・キリストの、ただ一度の犠牲により、
完全な贖罪が、永遠に成し遂げられた。

■**現在**：贖いを完遂した主イエスは、神の右の座で
永遠の大祭司として、とりなされている。

■**未来**：主イエスは、再臨され、**王の王**となられる。
福音を信じた者は、神の国に招き入れられる。

27

適用　新しい生ける道

「こういうわけで、兄弟たち。私たちはイエスの血によって大胆に聖所に入ることができます。
イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのために、**この新しい生ける道**を開いてくださいました。
10:18～19」

※「この道の者（使徒9:2他）」…クリスチャン
メシアの贖罪によって開かれ、神の国に至る道

主の定めたゴールに向かい、歩んで行くのが信仰者

28

適用　新しい生ける道を歩むとは？

「また私たちには、神の家を治める、この偉大な祭司がおられるのですから、
心に血が振りかけられて、邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われ、全き信仰をもって真心から神に近づこうではありませんか。10:21～22」

■大切なのは、神に近づいていくこと　➡聖化の道を歩む

変えられ、成長させられているのか？

29

適用　新しい生ける道を歩んでいるか　ヘブル10:20

❶心に血がふりかけられ	…福音を信じて、救われたか？ メシアによる贖罪を受けたか？
❷邪悪な良心をきよめられ 体をきよい水で洗われ	…聖霊によって、きよめられつつ、 歩んでいるか？
❸全き信仰をもって 真心から神に近づこう	…正しく聖書を学び、主に信頼して 成長させられていっているか？

常に問われ続け、応え続けるのが、新しい生ける道

30

適用　聖化の道を歩んでいる？　客観的に確認しよう

❶聖書の学びが、**具体的な適用**につながっているか？
➡知識の取得だけ。言葉だけで終わっていないか？

❷身近な人との**関係性が変化**してきているか？
➡霊的成長は、家族など身近な関係の変化に現れる

❸**試練の強度が増大**しているか？
➡主は、信仰の成長にあわせて愛する子を訓練される

31

★　新しい生ける道を歩む者　★

■新しい生ける道を歩む者は、聖霊に満たされ、
主によって変えられ、成長させられていく。

■私たち自身の成長が、生ける神の確かな証し。
躓いても立ち上がらされ、主に聞き従い続けているか。

■生きておられる主を日々味わい知ろう。
喜びと感謝をもって、救いの主を宣べ伝えて行こう。

主が開かれた、新しい生ける道を歩み続けて行こう!!

32

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
②墓に葬られ、
③三日目に復活されたこと、を信じます。
主が開いてくださった、新しい生ける道を歩みます。
御霊で満たしてください。日々、きよめ、変えてください。
私たちを、主の証人として、遣わし、用いてください。
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」

33